



京田辺キャンパス

かつて工学部以外の学部1・2回生が通ったキャンパス。現在では工学系・情報系・心理系学部がある京阪奈地区に位置し、都会に憧れて出てきた田舎出身を絶望させるほどの田舎。駅を出ると眼前に広がる田んぼ。カエルの鳴き声をBGMに大きな歩道橋を渡る近鉄勢。駅名は「同志社前」だがどう考えても「同志社下」だろうと思ってしまうJR勢。そのどちらの登校意欲を削ぎ落す、キャンパスへと続く坂。(ちなみに同志社女子大にはエスカレーターがあるという理不尽)坂の上に、正門から一番奥の馬術場へは徒歩30分かかる広さをもつ京田辺キャンパスがあります！

田辺の一般教養といえばここがほとんどでした。でも3号館は存在が希薄。

知真館1号館・2号館

大教室では、出入り口近くに座りいつの間にか消える学生、代返防止のために出席カードに色付けしたりと教授と学生の攻防が…(笑)工学系や情報系など、通う学部が限定された今、どんな授業が行われているのでしょうか？ぜひともエピソードを聞かせて下さると嬉しいです♪



### 光館

新島襄先生ゆかりの資料を展示しています。定期的に内容が変わるようなのでぜひとも一度ご覧になられてください。今回は手記や自責の杖など、貴重な資料を見ることができました。

休憩スペースもあるので、ゆっくりと学生時代の話が出来たら素敵ですね。



京田辺キャンパスには行ったことのない先輩も多いのではないのでしょうか。新田辺駅からはバスも出ておりますし、今出川とはまた違った雰囲気がありますのでぜひ一度訪れていただきたいです。コロナが落ち着きましたら、大分県校友会支部で京都へ母校訪問を兼ねたツアーを企画できたらいいなと考えております！



ラーメンなどの専門店が入るおもしろい横丁、生協の食堂に紫苑館……。とくに紫苑館のパフェは青春の味。

パンフレットを見た時は、食堂がたくさんで飽きなさそう！と思いましたが、まさか「周りにご飯屋さん皆無だから救済処置として中に作った」とは……(泣)でも、皆でレポートや発表作成のために集まった思い出が蘇ります。いつもギリギリだった…いえ、なんでもありません。



スポパの後は紫苑館で休憩！

<最後に>

今出川編、京田辺編といかがでしたでしょうか。今回は3年ぶりに開催されたホームカミングデーに参加し、色んな方とお話できたことで「同志社に来てよかったなあ」と再実感しました。その気持ちを新たに、校友会活動がんばります！

